

神栖市DX推進計画（案）に関するパブリックコメント
主な意見と市の考え方

1 意見募集期間 令和5年3月23日（木曜日）～4月21日（金曜日）

2 意見提出者数及び意見等件数

提出者数 3名

意見等件数 5件

3 意見の内容と市の考え方（意見の内容については、要約して掲載しています。）

No.	意見の内容	市の考え方
1	宇都宮市のように、次世代型路面電車を通すのはいかがか。また、東京方面との接続で京成を成田空港から延伸すれば、首都圏、神栖市内両方良くなると思います。鉄道を通すことで、朝夕の渋滞の解消、CO2削減に期待できると思います。スマートシティを目指すのはどうか。	いただいたご意見は公共交通事業等における参考とさせていただきます。
2	(8 ページ) 交通弱者への対応、移動制約者への対応 神栖市から鹿嶋市、銚田市、水戸市方面への公共交通を確保するために鹿島臨海鉄道株式会社と連携し、公的な資金を投入することで、旅客鉄道を走らせる(復活させる)ことはできないか。また、知手から波崎方面はDMV やBRT を走らせることで、つなぐことはできないか。	いただいたご意見は公共交通事業等における参考とさせていただきます。
3	(9 ページ) 5. 行政事務の状況 (1) 業務の状況 DX を推進することで何パーセントの人員削減ができると考えているのでしょうか。	DX の推進は、デジタル技術を活用した手続きのオンライン化など市民の利便性向上に取り組むとともに、事務作業の効率化により、職員が職員でなければ実施できない業務に注力することで、行政サービスの更なる向上につなげることを目指すものであり、単に人員削減を主目的としているものではございませんので、ご理解願います。

4	<p>(11 ページ) (3) 手続きのオンライン化の状況</p> <p>現在オンライン対応可能な手続きが、まだ十分に周知されていないのではないかと。</p>	<p>貴重なご意見として、今後も市の広報媒体を活用し、オンライン申請が可能な手続きの周知に努めてまいります。</p>
5	<p>(27 ページ) 「基本施策 5. 地域社会の DX」の取組指標 市民向けデジタル活用講座開催数</p> <p>講座開催数を 2025 年度で 24 回と記載されていますが、令和 5 年度主要事業概要図解の資料の電子自治体推進事業の市民向けデジタル活用講座開催数を 2023 年で 30 回程度(350 名程度)となっています。2025 年度までに 24 回では少ないのではないのでしょうか。</p>	<p>本計画書 27 ページに記載している市民向けデジタル活用講座開催数(2025 年度に 24 回)につきましては、コミュニティセンターなど公共施設でのスマホ講習会の開催予定数を記載しておりますが、令和 5 年度主要事業概要図解の資料において、デジタルデバインド対策として記載している講習会の開催数は、公共施設でのスマホ講習会のほか、公民館講座で実施するスマホ講座と、ボランティア支援員向けスマホ相談会を含めた開催数を記載しております。</p> <p>ご指摘頂きましたとおり、両資料の整合を図り、本計画の取組指標の講座開催数を、公民館講座での開催数とボランティア支援員向けスマホ相談会の開催数を含む回数に変更いたします。</p>